



先月は天気も良く過ごしやすい気候が続き、長久保公園を中心に元気いっぱい遊びました。

りす組の途中から散歩に向けて練習していた、ロープを握って公園内の散歩も再開しました！りす組の頃は、歩く時の約束を一つ一つ丁寧に伝えて行なっていましたが、今回、ロープを準備すると階段に座り、名前を呼ばれるまで待ち、呼ばれるとロープの所まで移動し、しっかりとロープの持ち手を握っていました。

歩く時の約束を伝え、いざ出発の時、心の中で「久しぶりだから覚えているかなあ？」「上手に歩けるかなあ？」と思っていましたが歩き始めると、しっかりと持ち手を握り、前の子の背中を見ながら真っすぐ歩き、歩くペースもバッチリ！！お友だちや大人の近くを通ると、手を振りながら「バイバ～イ」や「行ってきま～す」と余裕の表情！！

りす組からの積み重ねや少ない説明でも理解し、見通しを持って行動している子どもたちを見て、改めて積み重ねは大事なんだな、成長しているなと感じて感動しました！！

6月からは雨が降る事も増えてくると思われますが、天気が良い日は公園内での練習や、乞田川沿いをお散歩できればと思っています！！

<握るって大切>

長久保公園に遊びに行くと、しっぽ取りや砂遊びの他に、鉄棒にぶら下がる事を伝えています。

鉄棒にぶら下がる際、子どもたちに必ず伝えている事は「親指を下にして握る」です。親指を下にして握る事で親指に力が入ります。親指というのはとても大事な所で、親指に力が入る事で腕や肩の発達を促し、操作性が上がります。発達や操作性が上がる事で食事の際、スプーンを持つ、動かす動作が安定してきます。将来的には箸を使う時に繋がっていきます。

また、鉄棒にぶら下がる遊びでは、それだけで「できた！」と感じる事が出来、達成感も味わえる事で次の意欲にも繋がっていきます。

大人にとっては小さな事でも子どもたちにとっては大きな事でもありますので、子どもたちの一挙手一投足を見逃さず、出来た時はたくさん褒めていきましょう！！